

第5回藤田杯争奪男子・混合バレーボール大会 競技運営上の確認事項

1. 今大会は2025年度 公益財団法人日本バレーボール協会6人制バレーボール競技規則及び2024年度競技要項により実施する。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。
2. 試合は、すべて3セットマッチとする。なお、3位決定戦は行わない。
3. 試合は、追い込み方式で進めるが、試合が連続する場合も含めておおよそ15分程度のインターバルを取り、その後プロトコールに入る。
4. 本大会の使用球は、モルテン製「V4M5000-L」を使用する。
5. チームの構成は、監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、選手14名以内とする。なお、監督・コーチ・マネージャーの各章は必ず左胸部に着用すること。（着用のない者はフロアに立ち入られない）
（ベンチスタッフの服装は、統一されたものを着用。ランニングシャツやショート・ハーフパンツは不可）
※統一された服装とは、原則すべて同じものとする。ポロシャツ等のワンポイントのロゴ等については許容範囲とする。しかし、ズボンのラインの相違は許容されない。
※児童がマネージャーの場合は、この限りでない。
6. 監督・コーチは成人であること。また、ベンチスタッフの1名以上は、日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会（一次・二次のいずれか）を受講した者、または公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのスタートコーチ・コーチ1～4のいずれかの資格取得者か日本小学生バレーボール連盟認定指導者でなければならない。なお、試合時にはそれらを証明する証明書等を胸にさげていなければならない。
7. エントリー変更は受付時に提出し、監督会議終了時に締め切る。提出後の変更は一切認めない。
8. 選手のユニフォーム等について、JVA公認企業以外のものを着用する場合には予めチームで責任をもってロゴマークが露出しないように処理をすること。
9. ユニフォームの背番号等の色は、「ユニフォーム規定」等（日小連HP参照）に則って地の色と対照的な色を使用し誰もが見え易いものにすること。
10. パンツの裾からはみ出て見えるようなアンダーパンツは年間を通して認められない。
11. その他
 - ① 鳴り物について（H19/1/22 日小連より通達事項）
 - ・ここでいう「鳴り物」とは、太鼓・ラッパなどの大音量を発生するものを指し、ペットボトルをたたく音は、含まれない。
 - ・鳴り物による応援は、複数のコートで全て試合が行われていないときのみ使用しても良い。1コートだけの試合では、ラリー中以外は、使用しても良い。
 - ・隣のコートの試合や、周りの人たちの邪魔にならないような応援に心がける。
 - ・会場によって聞こえ方が違うので、会場責任者等から出される指示に従う。
 - ② ベンチには、競技に必要な飲料水・タオル・救急用具以外の物品は持ち込まないこと。飲料水は床にこぼさないように注意すること。（キャンプ用カートの持ち込みは禁止）
 - ③ 横断幕（チーム用）は当該チームの掲出し、試合後は直ちに撤去すること。なお、大きさや枚数の規定はしない。
 - ④ コート練習時のネット使用は原則禁止とするが、当該チーム合意であればこの限りではない。
 - ⑤ 審判に関わるトラブルの防止から、経験豊富な方やルールの精通している方をチーム帯同審判として選出すること。プロトコール自体把握されていない帯同審判が散見されている。
 - ⑥ テクニカルタイムアウト中のモップかけは、選手（子供）は行わず、ベンチスタッフが行うこと。